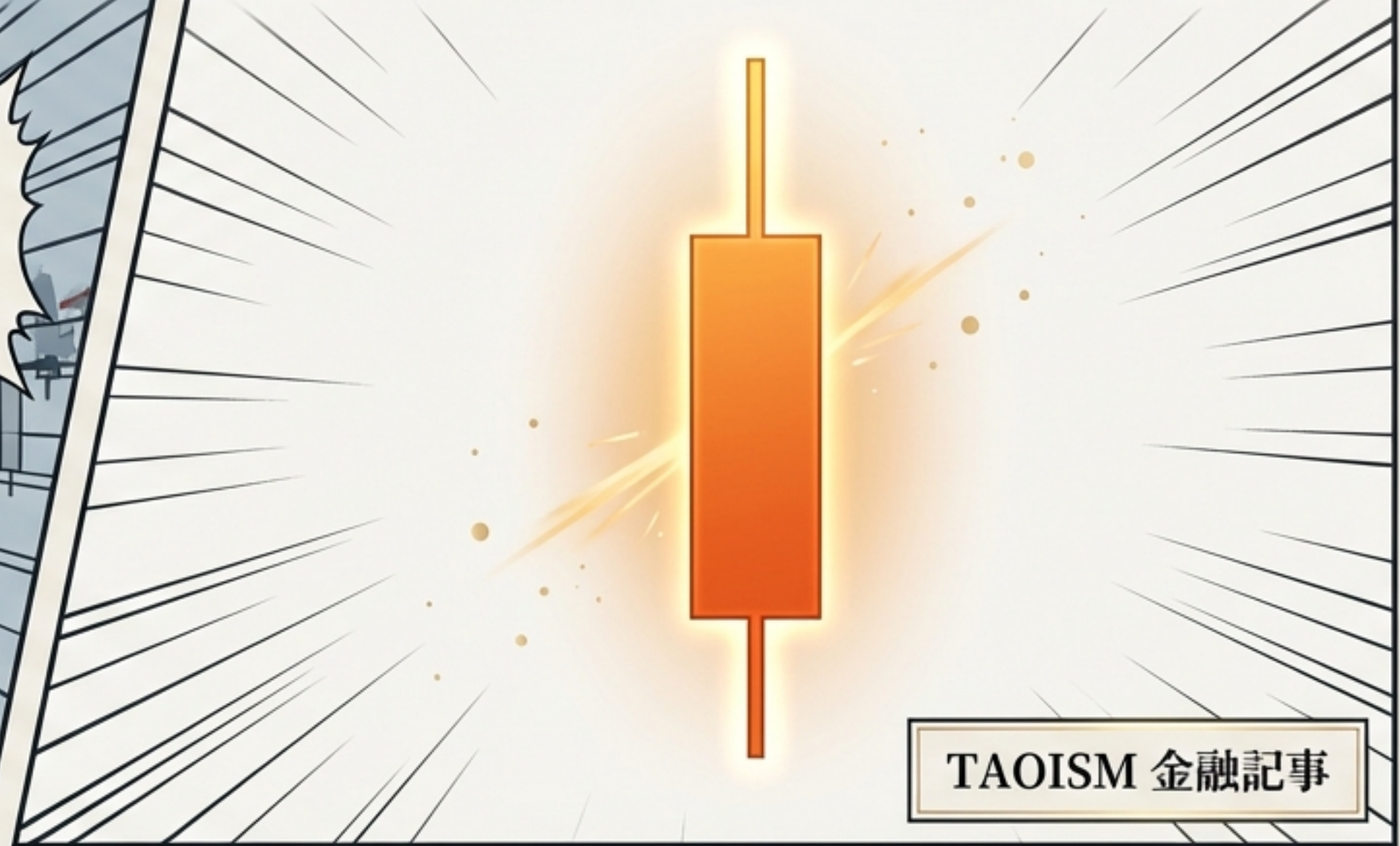


知識はあるのに勝てない…そんなあなたのトレードが変わる!

# エントリーの迷いを断つ! プライスアクションという「待つ技術」



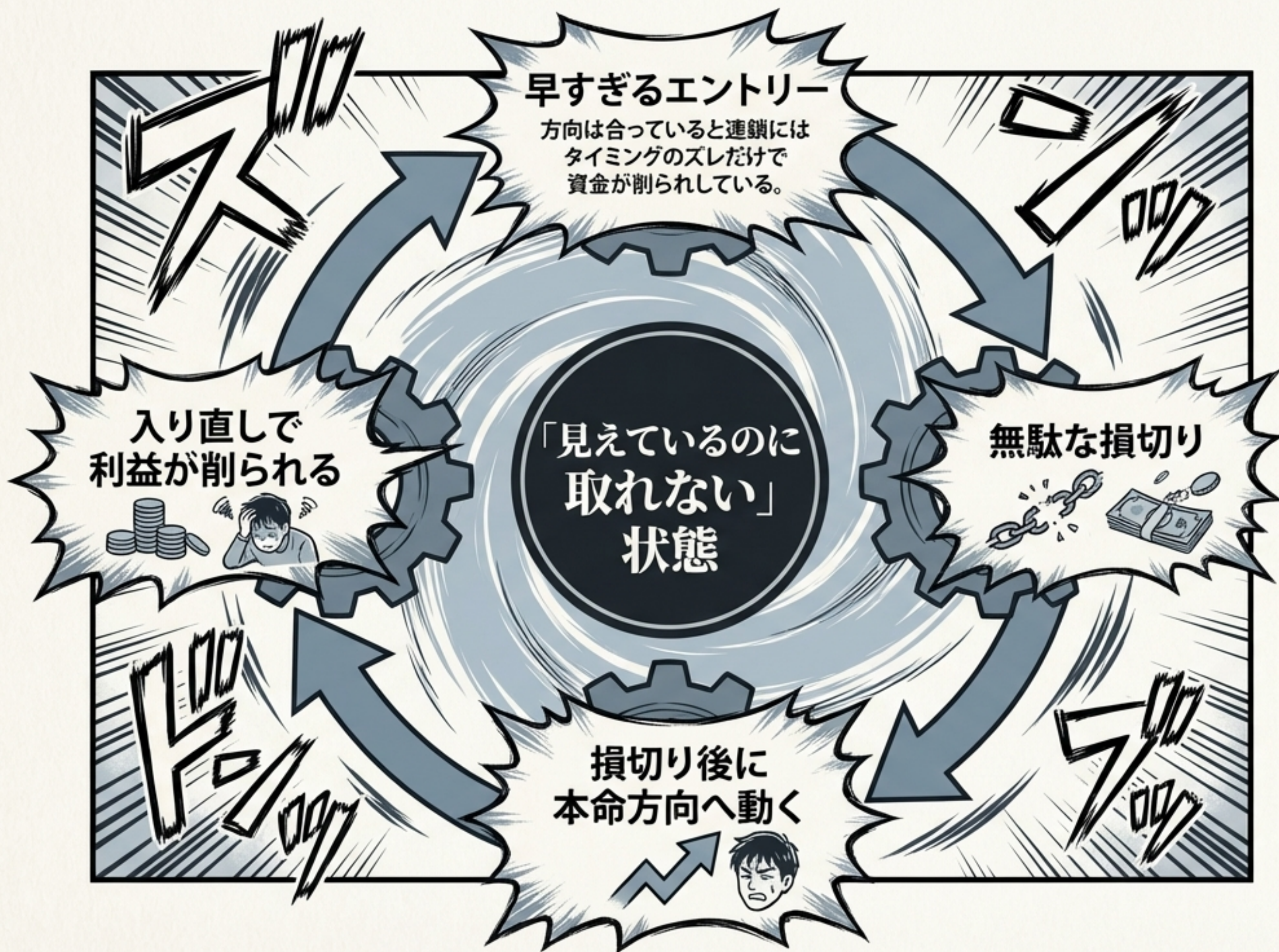
「知識はある。」

「理論も  
理解している。」

「方向性も  
合っている。」

「...それでも勝てない。  
どこで入れば  
いいんだ!?!」

多くのトレーダーが最初にぶつかる壁。  
なぜ、見えているのに取れないのか？



# 初心者が陥る 負けのループ

焦りが生む連鎖。方向は合っているのに、  
タイミングのズレだけで資金が削られて

焦りが生む連鎖。  
方向は合っているのに、  
タイミングのズレだけで  
資金が削られていく。

原因はシンプルです。  
「待てていない」これに尽きます。



TAOISMではこれを「間のズレ」と呼びます。  
方向ではなく、間。ここがすべてを分けます。



## 攻めのトレード

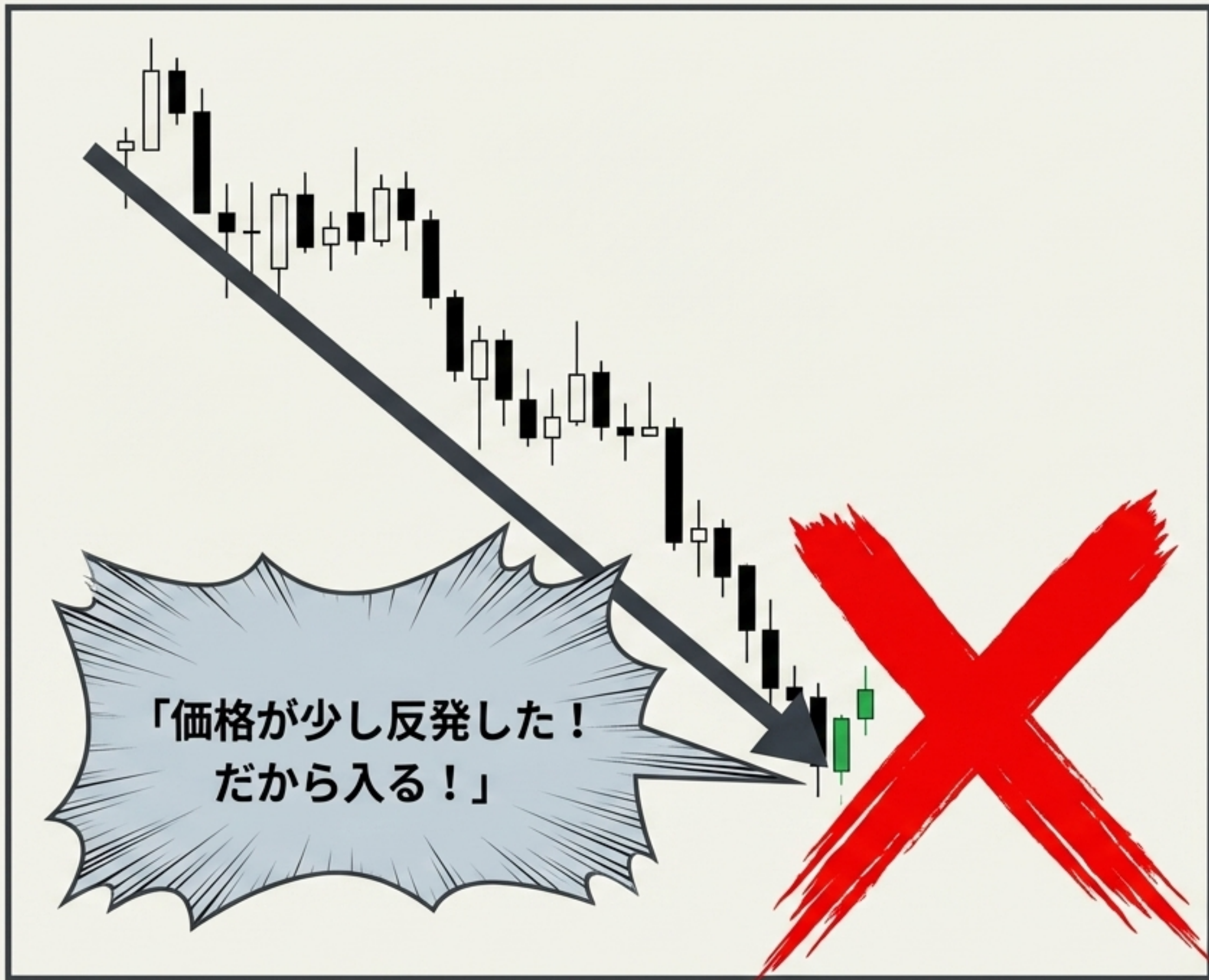
- 焦って先回りする
- 形やパターンを探す



## 待ちのトレード

- 市場の「呼吸」を読む
- 流れと強弱を感じる

エントリーとは攻めではなく、待ちである。  
ローソク足1本でも、パターンでもない、その間にある「流れ」を読む。



## 典型的な 負けパターン

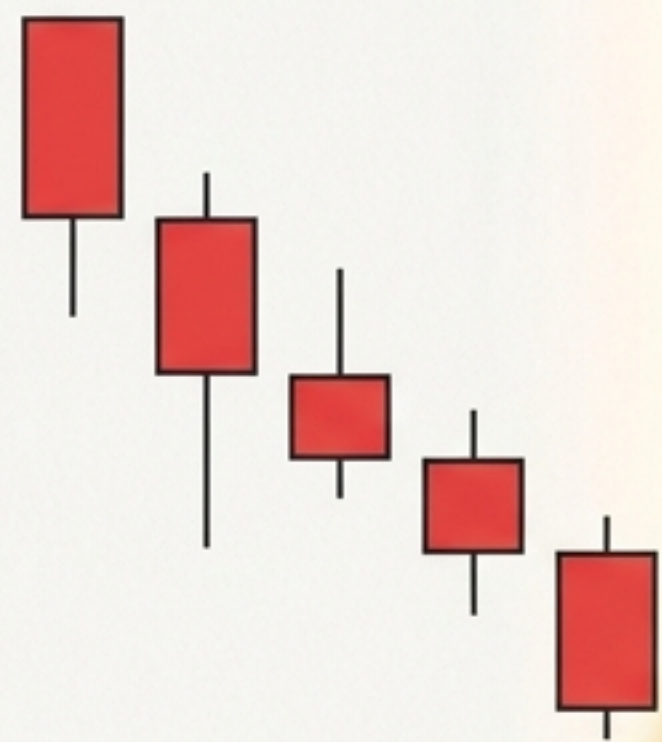
まだ流れが変わっていない。

下げの流れの中の「ただの  
戻し」に過ぎない。

ここで入ると、もう一段下  
げに巻き込まれます。

# 流れが変わった「証拠」を見てから入る

単調にジリジリ  
下げている場面



売りが弱まり、  
買いが一気に入る。  
この瞬間。  
ここが「間」です。

見るべきは、  
方向ではなく強弱。  
どれだけの力で  
動いているか。

## 実践1

# エントリー



### チェックリスト

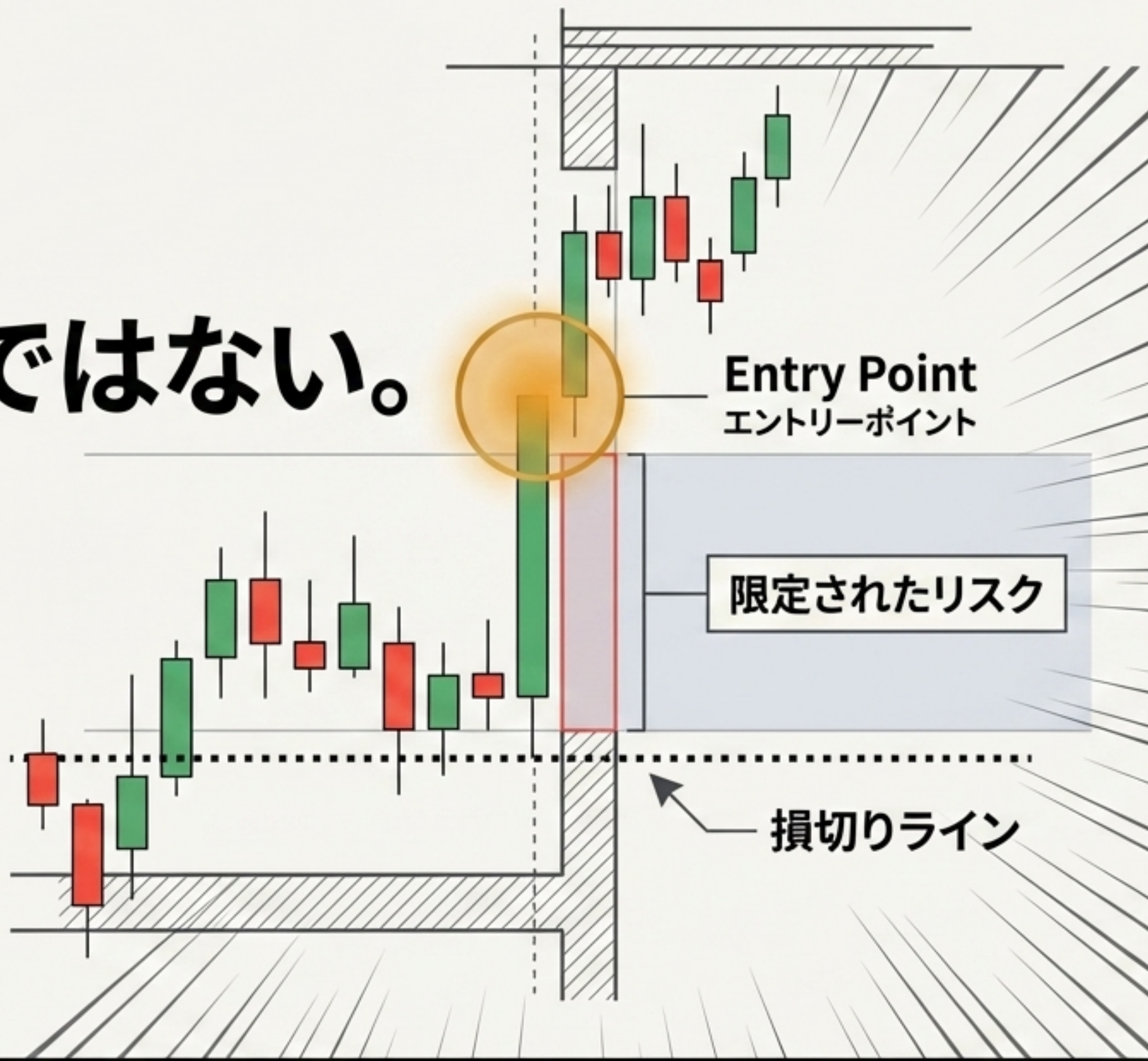
- 強い転換の足を待つ
- 流れの変化を確認する
- 証拠が出てから入る

焦って先回りしない。

# 損切り

損切りは恐れるものではない。  
設計するものです。

- エントリー起点の少し下に置く
- 無駄に広げない
- 構造で判断する



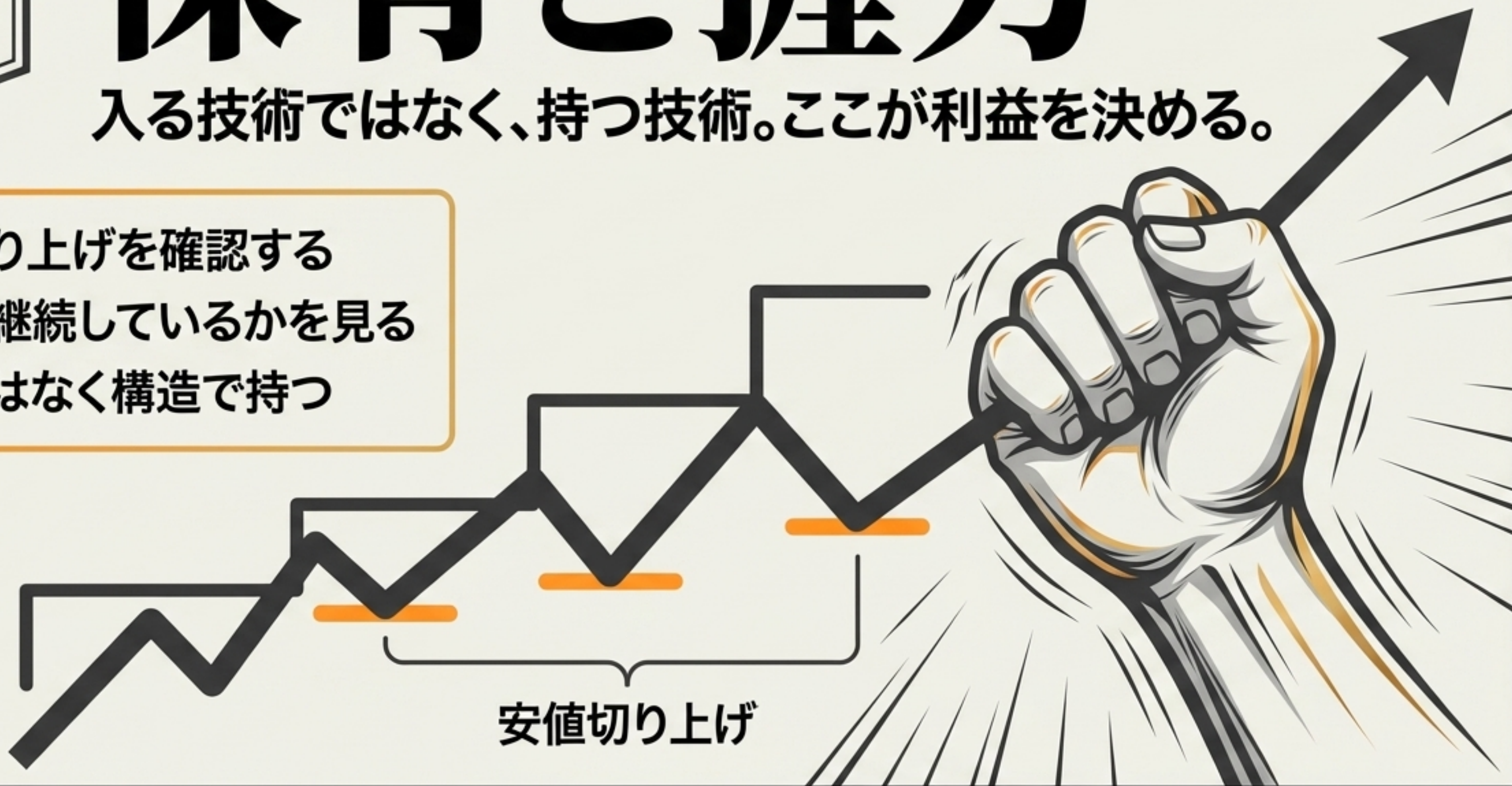
実践

3

# 保有と握力

入る技術ではなく、持つ技術。ここが利益を決める。

- 安値切り上げを確認する
- 流れが継続しているかを見る
- 感情ではなく構造で持つ



安値切り上げ

# 気づき：自分は形を探していないだろうか？

**慢心 (Arrogance/Illusion)**

「このパターンなら勝てる」

「この形なら入れる」

**Focus: 形・パターン**

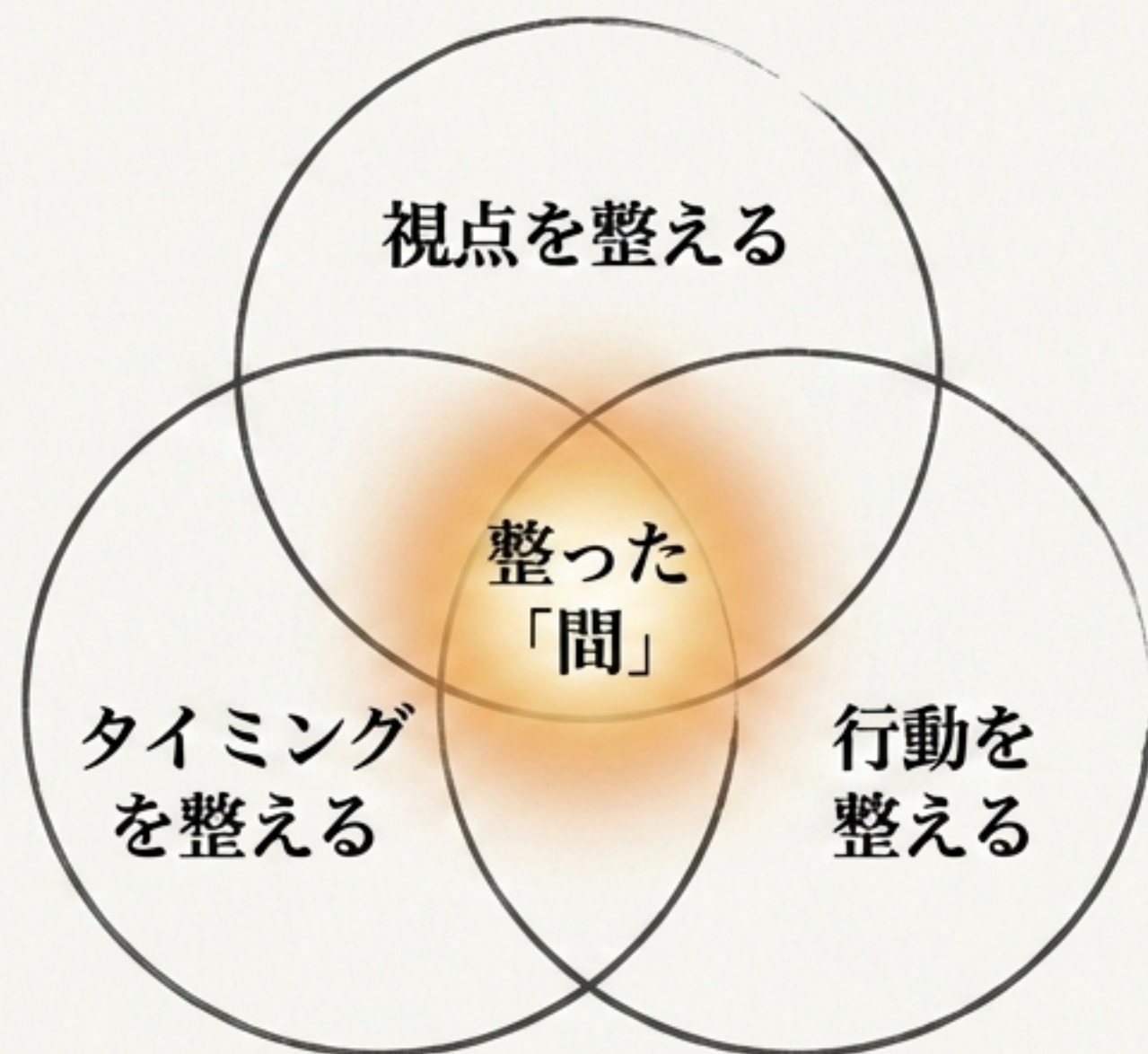
**本質 (Essence/Truth)**

「待つべきところで待っているか」

「早く入りすぎていないか」

**Focus: 流れ・強弱**

# TAOISMの教え：トレードとは、自分との対話である。



焦りを捨て、流れに従い、必要なところだけ動く。  
それができたとき、市場に振り回されることはなくなります。  
あなたは今、待つべきところで、待っていますか？